



和と力

10月号



売布小ホームページ

令和6年(2024年)10月 1日

宝塚市立売布小学校

校長 藤山 昌生



毎日、熱中症警戒アラートが続く中、いったい、いつまでこの「スーパー残暑」が続くのか心配していましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、ようやく朝夕の涼しさが心地よくなりました。しかしながら、日中はまだまだ暑い日もあります。季節の変わり目ですので、栄養・睡眠をしっかりと取り体調を整えてほしいと思います。

さて、すでにお知らせをしています通り、10月23日(水)に今年度の人権参観を実施します。人権教育は、子どもたちが健やかに成長し、自己を尊重し、他者を尊重するために欠かせない教育です。人権教育は、道徳や人権の授業だけでなく、日ごろ行っている教育活動全てにおいて大切にすべきものです。以下のような視点をもって授業を見ていただくことで、子どもたちと一緒に考えていただけると幸いです。

「他者を尊重すること」…子どもたちには、他者の権利や尊厳を尊重し、差別やいじめを許さない心を育むことが求められます。学校でこのことについてしっかり学びを深める一方で、家庭での言動や態度が子どもたちに大きな影響を与えることがあります。日々のかかわりや言動について、大人も子どもも、学校、家庭関係なく他者を尊重することが大切です。

「自己を尊重すること」…子どもたちは今のありのままの自分自身を受け入れ、自己肯定感を持ち、高めることが大切です。そのためには、子どもたちが自分自身を受け入れることができるよう、周りの人々がサポートや理解を示すことが必要です。過度な批判や否定は子どもたちの自己肯定感を損なうことがあるため、穏やかなコミュニケーションを心がけることが大切です。

「多様性を尊重すること」…現在の社会では、多様性や異なる価値観、文化を尊重することが求められます。多様性を受け入れる心を育むことは、1つ目の「他者を尊重すること」にもつながります。保護者の方々も、異なる意見や文化に対して理解を示し、子どもたちにもその姿勢を示すことが大切です。

授業後、春川政信先生に講演していただきます。売布小学校では職員研修として、毎年「人権を大切に授業・学級づくり」をテーマに春川先生から学んでいます。学校、家庭、地域で、人権を核にして子育てをしていくことを学ぶ機会となります。多くの方々と、この学びを共有したいと思いますので、ご参加をお待ちしております。

6年修学旅行 平和集会@ヒロシマ <9月30日～10月1日>

